



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月5日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東
 コード番号 3690 URL <https://www.yrglm.co.jp>
 代表者（役職名）代表取締役（氏名）岩田 進
 問合せ先責任者（役職名）取締役執行役員経営管理本部長（氏名）赤澤 洋樹 TEL 06(4795)7500
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	721	23.3	94	281.6	95	279.8	61	222.7
2020年9月期第1四半期	585	12.7	24	—	25	—	19	—

（注）包括利益 2021年9月期第1四半期 60百万円（215.1％） 2020年9月期第1四半期 19百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	9.77	9.76
2020年9月期第1四半期	3.04	3.03

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,711	1,310	48.3
2020年9月期	2,751	1,275	46.4

（参考）自己資本 2021年9月期第1四半期 1,310百万円 2020年9月期 1,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2021年9月期	—				
2021年9月期（予想）		0.00	—	4.50	4.50

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無
 2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	14.6	330	19.2	320	22.5	210	14.5	33.24

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有
 連結業績予想の修正については、本日（2021年2月5日）公表いたしました「業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。
 2. 当社は2021年1月15日の取締役会において自己株式の処分を決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の処分の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	6,372,415株	2020年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	66,486株	2020年9月期	64,493株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	6,305,929株	2020年9月期1Q	6,290,724株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて厳しい状況となり、今後の先行きについては国内外の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある、依然として予断を許さない状況が続くものと考えられます。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場につきましては、2019年のインターネット広告費は前年比119.7%の2.1兆円（株式会社電通「2019年日本の広告費」）と6年連続で二桁成長し、総広告費に占める媒体構成比も前年から3.4ポイント増の30.3%となり、広告市場のインターネットシフトのトレンドが続いております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場につきましても、2019年国内BtoC-EC（消費者向け電子商取引）市場規模は前年比107.7%の19.4兆円に拡大しております。また、全ての商取引に対する電子商取引の割合であるEC化率も、BtoC-ECで6.8%（前年比0.5ポイント増）、BtoB-ECで31.7%（前年比1.5ポイント増）と増加傾向にあり（いずれも経済産業省「令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（電子商取引に関する市場調査）報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような良好な事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は721,948千円（前年同期比23.3%増）、営業利益は94,588千円（前年同期比281.6%増）、経常利益は95,213千円（前年同期比279.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は61,622千円（前年同期比222.7%増）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

(マーケティングプラットフォーム事業)

当事業は、デジタルマーケティング領域において、マーケティング効果測定プラットフォーム「AD EBiS」や分析レポート自動作成サービス「アドレポ」等を提供する事業であります。「AD EBiS」は広告効果測定システムを基盤としたマーケティング統合環境を提供するサブスクリプション型のサービスであり、広告効果測定市場において5年連続シェアNo.1（株式会社アイ・ティ・アール「ITR MarketView：メール/Webマーケティング市場2020」広告効果測定市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2019年度予測））を獲得しております。

当第1四半期連結累計期間においては、2021年1月の「AD EBiS」フルリニューアルに向け、画面レスポンスの高速化と分析導線を見直した新UIの開発に注力いたしました。

また、2020年12月30日付で株式会社スプーの全株式を取得し、完全子会社としております。株式会社スプーの持つクリエイティブ力と当社の持つテクノロジーとを融合し、新たな価値提供と領域の拡大を目指してまいります。

販売活動においては、オンラインで参加可能な大規模カンファレンス「AD EBiS Conference 2020」を実施する等、コロナ禍で対面での営業活動が制限される中、リモートで行える交流を最大限に活用し、積極的に活動を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は621,506千円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益は47,867千円（前年同期比201.9%増）となりました。

(商流プラットフォーム事業)

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」を提供する事業であります。「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者からマージン収入を得るというエコシステムを構築しております。

当第1四半期連結累計期間においては、コロナ禍においてEC売上が好調に推移したことによるマージン収入増があり、売上は好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は100,441千円（前年同期比62.6%増）、セグメント利益は46,720千円（前年同期比423.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ40,112千円減少し、2,711,357千円となりました。主な要因は、のれんの償却によりのれんが17,002千円減少したことや、前払費用が14,689千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債については、前連結会計年度末と比べ75,274千円減少し、1,400,726千円となりました。主な要因は、法人税等の支払により、未払法人税等が34,054千円減少したことや、借入の返済により長期借入金31,067千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末と比べ35,162千円増加し、1,310,630千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益61,622千円の計上による増加と、剰余金の配当25,231千円によるものです。この結果、自己資本比率は48.3%（前連結会計年度末は46.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき、通期の業績予想を以下のとおりといたします。

	金額	対前期増減率	(参考) 前期連結実績
	百万円	%	百万円
売上高	3,000	14.6	2,618
営業利益	330	19.2	276
経常利益	320	22.5	261
親会社株主に帰属する当期純利益	210	14.5	183

売上高につきまして、マーケティングプラットフォーム事業における主力サービスである「AD EBiS」の成長と周辺サービスの強化による増収を見込んでおります。

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、新規サービス開発のための投資を行っていく方針ですが、売上の増加と既存サービス運営の効率化により前年比増益となる見込みです。

※本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,118,716	1,117,702
売掛金	336,810	363,962
前払費用	94,403	79,713
その他	14,432	19,692
貸倒引当金	△870	△860
流動資産合計	1,563,492	1,580,210
固定資産		
有形固定資産		
建物	93,115	93,115
減価償却累計額	△77,063	△79,299
建物(純額)	16,051	13,815
工具、器具及び備品	227,503	210,604
減価償却累計額	△191,764	△176,355
工具、器具及び備品(純額)	35,738	34,248
有形固定資産合計	51,790	48,064
無形固定資産		
のれん	316,351	299,349
ソフトウェア	434,061	462,435
ソフトウェア仮勘定	66,130	17,042
その他	15,435	15,134
無形固定資産合計	831,978	793,961
投資その他の資産		
投資有価証券	39,271	40,039
長期前払費用	29,123	25,364
繰延税金資産	127,244	120,890
差入保証金	107,784	102,044
その他	1,307	1,306
貸倒引当金	△524	△524
投資その他の資産合計	304,208	289,121
固定資産合計	1,187,977	1,131,147
資産合計	2,751,470	2,711,357

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,582	3,964
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	257,556	250,445
未払金	197,470	200,416
未払法人税等	59,003	24,948
預り金	42,487	54,730
賞与引当金	48,058	23,641
その他	10,065	15,592
流動負債合計	718,222	673,738
固定負債		
長期借入金	719,150	688,083
賞与引当金	1,228	1,504
資産除去債務	37,400	37,400
固定負債合計	757,778	726,987
負債合計	1,476,001	1,400,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	312,401	312,401
利益剰余金	720,270	756,662
自己株式	△72,445	△72,445
株主資本合計	1,278,292	1,314,683
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,823	△4,053
その他の包括利益累計額合計	△2,823	△4,053
純資産合計	1,275,468	1,310,630
負債純資産合計	2,751,470	2,711,357

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	585,488	721,948
売上原価	178,769	216,831
売上総利益	406,718	505,117
販売費及び一般管理費	381,932	410,529
営業利益	24,786	94,588
営業外収益		
受取利息	206	1,199
投資有価証券評価益	424	24
持分法による投資利益	536	742
その他	193	672
営業外収益合計	1,361	2,639
営業外費用		
支払利息	819	1,704
長期前払費用償却	233	—
その他	22	310
営業外費用合計	1,076	2,015
経常利益	25,071	95,213
税金等調整前四半期純利益	25,071	95,213
法人税、住民税及び事業税	688	27,236
法人税等調整額	5,284	6,353
法人税等合計	5,972	33,590
四半期純利益	19,098	61,622
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,098	61,622

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	19,098	61,622
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	68	△1,229
その他の包括利益合計	68	△1,229
四半期包括利益	19,167	60,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,167	60,393
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	523,701	61,787	585,488	—	585,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	523,701	61,787	585,488	—	585,488
セグメント利益	15,855	8,931	24,786	—	24,786

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム フォーム	商流プラットフォーム フォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	621,506	100,441	721,948	—	721,948
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	621,506	100,441	721,948	—	721,948
セグメント利益	47,867	46,720	94,588	—	94,588

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社株式の一部譲渡)

当社は、2020年12月21日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社イーシーキューブ（以下「イーシーキューブ」といいます。）が営むECサイト構築支援プラットフォームサービスを提供する事業の推進のための業務提携を目的として、当社が保有するイーシーキューブ株式の一部を株式会社オリентコーポレーション（以下「オリентコーポレーション」といいます。）に譲渡することについて決議し、同日、業務提携契約及び株式譲渡契約を締結いたしました。また、同株式譲渡契約に基づき、2021年1月8日、株式の譲渡を行いました。

なお、本取引後も、当社はイーシーキューブの議決権総数の過半数を保有しており、本取引に伴う子会社の異動はありません。

1. 資本業務提携の背景、目的及び内容

オリентコーポレーションによるイーシーキューブへの資本参加を通じて、オリентコーポレーションの加盟店に対してEC構築支援プラットフォーム「ec-cube.co」の提供促進を目的とした業務提携を推進し、双方の保有する知見や強みを効果的に活用することでEC構築支援プラットフォーム事業を拡大することを目的とするものであります。

2. 株式譲渡の概要

(1) 対象子会社	株式会社イーシーキューブ
(2) 譲渡先	株式会社オリентコーポレーション
(3) 対象子会社の発行済株式総数	1,000株
(4) 譲渡株式数	100株
(5) 譲渡割合	10%
(6) 譲渡価格	155百万円

3. 対象子会社の概要

(1) 商号	株式会社イーシーキューブ
(2) 所在地	大阪府大阪市北区梅田2-4-9 プリーゼタワー13階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 金 陽信
(4) 事業内容	ECオープンプラットフォームの開発・提供、他
(5) 資本金	30百万円（2020年12月31日現在）

4. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 商号	株式会社オリентコーポレーション
(2) 所在地	東京都千代田区麹町5-2-1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 飯盛 徹夫
(4) 事業内容	カード・融資事業、決済・保証事業、個品割賦事業、銀行保証事業
(5) 資本金	150,051百万円（2020年3月31日現在）

5. 日程

(1) 株式譲渡契約締結日	2020年12月21日
(2) 株式譲渡日	2021年1月8日

6. 譲渡する株式の数、譲渡前後の所有株式の状況

譲渡前の所有株式数 普通株式 1,000株（所有割合：100.0%）

譲渡株式数 普通株式 100株

譲渡後の所有株式数 普通株式 900株（所有割合：90.0%）

（注）譲渡による連結の範囲の変更はありません。

7. 譲渡価額及び譲渡損益

譲渡価額 155,000千円

譲渡損益 ー円

資本剰余金増加額 2021年9月期第2四半期連結会計期間に資本剰余金が142,055千円増加する見込みであります。